



## 日本水産学会春季大会に参加しました！

2025年3月28日、北里大学相模原キャンパスにて「日本水産学会春季大会」が開催され、科学部から1チーム、PrincipiaⅡから2チームがポスター発表を行いました。日本水産学会春季大会とは高校での授業あるいはサークル活動等による「水産学」「水圏の生物学」「水圏の環境学」等に関連する研究発表を行うものです。以下、発表メンバーと探究内容です。

## 【探究内容】

「トウキョウサンショウウオの継続的な保全活動」 79期 飯島 蓮登さん、福田 稟月さん、山田 嵩彪さん  
「瀬戸内海における養殖産業により生じたプラスチックゴミの漂流及び漂着に関する検討」

78期 横山 心大さん

「プランクトンの変化を調べてみた in 天神島」

78期 湯浅 実華さん、杉山 佳織さん

## 「トウキョウサンショウウオの継続的な保全活動」

## Q：発表に向けて準備したこと

A：今までのポスターを参考にしてポスターを作りました。また、新しいことを書く所は文献を探したり、自分たちのデータを使いました。発表の練習は先輩や先生に聞いてもらい改善点を指摘してもらいました。

79期 3組 飯島 蓮登

## Q：他校の発表を聞いて

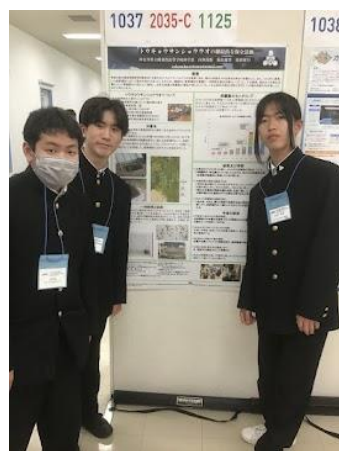
A：他の発表を聞き、様々な知識を得られ自分達が今後反省すべき点が見えてきました。自分達は保全活動についての発表をしたけれど、今後は研究をしてより数値を使った分かりやすいものにしたい。

79期 3組 福田 稟月

## Q：発表した感想

A：発表する前は初めてのしっかりとした場での発表という事もあり、緊張していましたが、思っていたよりも練習通りに発表を進め、質疑応答にも対応することができました。この経験を次にも活かしていきたいです。

79期 3組 山田 嵩彪



## 「瀬戸内海における養殖産業により生じたプラスチックゴミの漂流及び漂着に関する検討」

## Q：会場の様子

A：高校生だけでなく、一般企業の方や研究者の人もポスターを見て感想をくださったのでとても良い経験になった。また、大学院生の発表の様子も知ることができた。

## Q：発表に向けて準備したこと

A：自分の研究が、既存の研究と比較して、何の意義があるのか。また、研究内容はどうなのかを正確に言えるようにした。自分の研究の中で不足している事や今後の展望も言えるようにすれば良いと感じた。

78期 3組 横山 心大

## 「プランクトンの変化を調べてみた in 天神島」

## Q：発表した感想

A：私たちが研究対象としている生き物の専門家の方々に自分たちでは思いつくことができないようなアドバイスをいただくことができました。今回の学会でいただいたアドバイスを自分の成長につなげていきたいです。

78期 5組 杉山 佳織

## Q：後輩へ一言

A：興味のあることはとことん突き詰めて、やりたい事を楽しく進めてほしい。自分の好奇心を信じて、ワクワクしながら一歩ずつ研究しよう！

78期 4組 湯浅 実華



実際に使用したポスターはC2多目的室前に掲示しています。ぜひご覧ください！